

平成 28 年 3 月 30 日
農 林 中 央 金 庫

**宮城県山元町の津波被災農地で大規模園芸栽培を行う中核担い手の
地域復興・地域活性化の取組みに対する資金対応について
～営農面積 112ha・100 名以上の雇用を計画する農業法人への支援～**

農林中央金庫では、東日本大震災で被災した農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため創設している「復興支援プログラム」に基づき、今般、株式会社やまもとファームみらい野（以下、「当社」という）に対し、東北農林水産業応援ローン（復興ローン）の融資実行と、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、東北農林水産業応援ファンド（復興ファンド）の出資を実施いたしましたので、お知らせいたします。

1 津波被災地域での営農再開・当社概要

山元町は震災の津波により、町内面積の約 45%に相当する約 430ha が被災しました。山元東部地域では、行政が主体となり農地の大規模圃場整備をすすめており、当社は当地域にて平成 27 年 7 月に被災農家 53 戸が中心となり、設立した農業生産法人です。当社は津波により被災した農地 112ha で野菜の露地栽培等を行い、持続可能な農業の仕組みを構築することで「地域の再生と自立」を目指しております。

当社は 100 名以上の雇用を計画し、被災地域の雇用創出にもつながる取組みを行っており、また、地域管内でも最大規模の営農面積をほこる、地域の中核的な担い手です。

2 金庫支援

当金庫は J A みやぎ亘理と連携しながら、事業構想段階より事業計画策定等の支援を実施し、この度、当金庫として創業初期の経営安定のための資金対応を決定しました。

また、当社が津波被災農地で生産を実施するに伴い、さらに課題が発生した場合は、地域復興への効果等を踏まえ、今回に引き続く支援を検討してまいりたいと考えております。

当金庫では、引き続き「復興支援プログラム」を通じて被災された農林水産業者の復興支援を継続してまいります。

以 上

【本件にかかるお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報企画室

担当：田口・三上 TEL：(03)5222-2017

(参考資料)

【株式会社やまもとファームみらい野の概要（平成 28 年 2 月 29 日現在）】

事業者	株式会社やまもとファームみらい野
代表者	島田 孝雄（しまだ たかお）
所在地	宮城県亘理郡山元町高瀬字古谷地 2 番地 4
設立年月日	平成 27 年 7 月 27 日
資本金	5.5 百万円
生産品目	さつまいも，ねぎ，たまねぎ等
生産面積	112ha
特徴	津波により被災した農地で大規模な野菜の露地栽培等を行い，持続可能な農業の仕組みを構築することで「地域の再生と自立」を目指している。 管内最大規模の面積の営農面積をほこる，地域の中核的な担い手。

【今回の資金対応について】

復興ファンド	3 0 百万円（運転資金）
復興ローン	2 5 0 百万円（創業資金）